

募集要項

2026年度版

対象国日本語版

中国 台湾 香港

一、募集期間

コース名	入学時期	募集時期	修業期限
キャリアデザイン日本語2.0年	4月	08月～10月	2年
キャリアデザイン日本語1.9年	7月	11月～02月	1年9ヶ月
キャリアデザイン日本語1.6年	10月	03月～05月	1年6ヶ月

※ 募集人数が上限に達し次第、当該期の募集を停止します。

※ 出願書類は必ず早めにご準備ください。在留資格認定証明書を入国管理局に提出する前に、学校で厳格な審査を行います。

二、授業時間

本校の授業は毎週月曜日から金曜日まで行われます。学生の日本語基礎力に応じて入学試験によりクラス分けを行います。学生のニーズに応えるため、午前クラスと午後クラスを設けています。（土曜日、日曜日、祝日、夏休み、冬休み、春休み、学期末は休校とし、授業はありません）

午前クラス： 09:00 ～ 12:20

午後クラス： 13:00 ～ 16:20

三、応募資格

1. 年齢：18歳から30歳までで、心身ともに健康であり、日本での学習および生活に必要な基本的能力を有する者。
2. 学歴：高等学校卒業生、卒業見込み者、または高等学校以上の同等学力を有する者（中国において12年以上の学校教育を受けた者）。
3. 日本語能力：JLPT N5または同等レベルの他の日本語試験に合格している者。
4. 経費支弁能力：学費および生活費を支払うための十分な資金を有する者。

四、審査方法

書類審査、ビデオ面接

五、学費・諸費用

学費明細（単位：日本円・税込）

初年度 全コース		次年度		
		2年コース	1.9年コース	1.6年コース
入学選定料	30,000円	—	—	—
入学金	50,000円	—	—	—
授業料	690,000円	690,000円	520,000円	350,000円
設備費	20,000円	20,000円	20,000円	10,000円
教材費	30,000円	30,000円	30,000円	15,000円
校外活動費	10,000円	10,000円	10,000円	5,000円
留学生保険費	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
合 計	840,000円	760,000円	590,000円	390,000円

六、送金方法

1. Flywire（推奨）

Flywire QRコードをスキャンしてFlywireプラットフォームにログインし、学校ページへアクセスしてください。銀行カード、クレジットカード、Alipay（支付宝）などでオンライン送金が可能で、送金状況を随時確認できます。



2. 日本国内銀行振込（Bank Transfer Information）

銀行名： 埼玉りそな銀行 川口南平支店
口座番号： 普通 4176221
名義人： 亜細亜エンタープライズ株式会社 東京アジア学友会

3. 海外からの銀行送金（Bank Transfer Information）

銀行名 Bank Name	埼玉りそな銀行 SAITAMA RESONA BANK,LTD
支店名 Branch Name	川口南平支店 KAWAGUCHI NANPEI
支店号 Branch Number	334
口座番号 Account Number	普通 4176221 ORDINARY 4176221
口座名義 Account Holder	亜細亜エンタープライズ 株式会社 東京アジア学友会 ASIA ENTERPRISE KABUSHIKI GAISYA TOKYO ASIA GAKUYUKAI
金融機関コード Swift Code	SAIBJPJT

銀行住所 Bank Address	1-11-6 RYOKE KAWAGUCHI-SHI SAITAMA JAPAN
-------------------	--

七、その他費用・注意事項

1. 空港送迎費用

学校寮を申込まれた学生には学校が空港送迎サービスを提供します。

非入寮生で送迎を希望される場合は、事前に学校事務担当者へご連絡ください。

詳細は「新入生ガイドブック」にて別途ご案内いたします。

2. 返金について

1) ビザ不発給の場合

在留資格認定証明書交付後、申請者が日本大使館・領事館において査証（ビザ）の発給を受けられなかった場合は、入学選考料および入学金を除き、納入済み学費を返還します。

2) 申請者本人の都合による入学辞退

① 入国前（留学ビザ取得前）

申請者本人の都合により入学を辞退した場合は、授業料のみ返還します。

なお、入寮を申し込んでいる場合は、別途入寮契約の定めに従います。

② 留学ビザ取得後・入学前

留学ビザ取得後、入学前に入学辞退を申し出た場合は、入学選考料・入学金および最初の6か月分の授業料については、理由の如何を問わず返還しません。

③ 入学後の退学

■ 入学後3か月以内で自己都合退学した場合

退学願受理日以降の未就学期間に係る授業料について、後年度の学費の80%を返還します。

ただし、事務手数料33,000円（税込）を控除します。

■ 入学後6か月以上在籍後に自己都合退学した場合

初年度に納入した学費（入学選考料・入学金・授業料その他納付金を含む）は返還しません。

学費返還対象外

次の場合は、納入済み学費は返還しません。

①日本の法令に違反した場合

②本校学則・校則に違反し、懲戒退学または除籍となった場合

③その他、本校が返還対象外と判断した場合

その他

学費返還の手続きは、本校所定の手続きによって行います。

振込手数料は申請者の負担とします。

詳細は「学費返還に関する規定」によります。

八、宿泊と生活

1. 宿泊

- 1) 本校は新入生に対し、詳細な住居相談サービスを提供しています。学生が現地の住環境を十分に理解した上で、最適な住居を選択できるよう支援します。学校寮への入居、または個人の希望・予算に応じた外部物件の選択が可能です。
- 2) 学校寮の家賃は地域・部屋タイプ・広さにより異なり、21,000円～59,800円程度です。学校周辺は交通便利で生活施設が揃っており、快適な生活環境を提供しています。

2. アルバイト

留学ビザ保有者は「資格外活動許可」取得後、週28時間以内（長期休暇中は1日8時間以内）でアルバイトが可能です。東京都内の時給は約1,200円前後です。

3. 生活費

日本での月々の生活費は食費・住居費・光熱費等を含め約10万～15万円程度です。賃貸契約時には礼金・敷金が必要です。また通学定期券の購入も必要となります。来日直後の学生は、安定した生活を送るため40万円～50万円程度の生活費を持参されることをおすすめします。

4. 国民健康保険および銀行口座の手続き

入国後、在留カード受領後14日以内に居住地の市役所・区役所で転入手続きを行い、国民健康保険に加入します。学校が入学後にサポートいたします。入国後6ヶ月未満の留学生はゆうちょ銀行の口座開設が可能です。学校が必要書類の提供と手続き支援を行います。

※ その他の留学生保険に関するご質問は本校事務局までお問い合わせください。

提出書類一覧表

【重要注意事項】

1. 証明書類（卒業証明書等を除く）は、国内外を問わず、在留資格認定証明書申請日前3ヶ月以内に発行された原本に限ります。
2. 過去に留学・就労・技能実習等の在留資格認定証明書を申請したことのある方（取消含む）は、出願時に必ず本校へお申し出ください。追加書類をご案内いたします。

チェック	申請者本人が準備する書類	詳しい内容
☐	写真1枚 (縦4cm×横3cm、電子データ可)	・最近3ヶ月以内に撮影された写真をご提出ください。 ・カラー正面写真、顔の輪郭がはっきりしているもの。 ・※カラーコピーは使用不可。
☐	入学願書 (本校指定用紙)	・申請者本人がすべての項目を漏れなくご記入ください。 ・住所は番地・部屋番号まで詳細にご記入ください。 ・経費支弁者の職業・勤務先等の情報を正確にご記入ください。 ・氏名はパスポートの表記と一致させてください。
☐	履歴書・留学理由書・進路説明書 (本校指定用紙)	・申請者本人が記入してください。記入内容に誤りがないことを確認の上、自筆署名をし、記入年月日をご記入ください。（捺印可） ・小学校入学時から最終卒業学校までの全学歴を記入してください（認められるすべての学校を含む）。 ・学校および通学した日本語教育機関の住所は、番地・部屋番号まで正確にご記入ください。
☐	健康状態申告書 (本校指定用紙)	申請者ご自身の健康状態に基づき、詳細にご記入ください。
☐	パスポートの写し	・パスポートを未取得の方は、身分証明書など政府機関が発行した関連書類を提出してください。 ・日本への出入国歴がある申請者は、パスポートに記載されたすべての日本出入国印章のあるページのコピーを提出してください。
☐	本人の身分証明書の写し	スキャンしたデータでの提出も可能です。
☐	最終学歴の卒業証明書 または卒業証書の写し	・出願時点で最終学歴の学校に在学中で未卒業の場合は、提出不要です。 ・卒業証明書のコピーは、原本から直接複写したものに限りします。 ・大学、短期大学、専門学校等に在学中（休学中を含む）または中退した学生は、最終学歴の学校の証明書に加え、高等学校の卒業証明書のコピーも提出する必要があります。
☐	日本語能力試験合格証明書の写し（所持者のみ）	・以下の日本語試験の合格者は、合格証明書のコピーを提出してください。 JLPT、BJTビジネス日本語能力テスト、J.TEST、NAT-TEST、標準ビジネス日本語テスト、TOPJ実用日本語運用能力試験、J-cert生活・職能日本語検定、JLCT外国人日本語能力検定、実用日本語コミュニケーション検定、JPT日本語能力試験。

☐	日本語学習証明書 (発行可能な場合)	- 日本の日本語学校での学習歴がある場合は、在学期間中の出席率証明書および成績証明書を必ず提出してください。 180時間以上の日本語学習時間証明書を提出してください。 証明書には、教育機関の住所および連絡先のほか、下記の事項を明記する必要があります。 ① 学習期間 ② 週あたりの学習時間 ③ 1日あたりの学習時間 ④ 国の法定祝日等を含む休校日 ⑤ 修了済みの学習時間および日数 ⑥ 出席率 ⑦ 履修内容 ⑧ コース名 ⑨ 当該コース修了時の目標日本語レベル ⑩ 使用教材名
チェック	経費支弁者が準備する書類	詳しい内容
☐	経費支弁書 (本校指定用紙)	- 経費支弁者本人が自ら記入するか、または自筆で署名してください。 - 経費支弁者が申請者本人または申請者の父母以外の場合、申請者の父母が支弁できない理由および代わりに支弁するに至った経緯を説明する書類を提出してください。
☐	親族関係公証書 (原本)	申請者と親族関係者の氏名、住所、身分証明書の番号、および相互間の関係が明記されている必要があります。公証書は発行後3か月以内のものであること。また、支弁者が外国人の場合は、在留資格や勤務先を証明する書類の提出も併せて求められます。これらの書類は入管庁での審査において資金計画の信頼性を判断する重要な資料となりますので、不備や誤記がないよう慎重にご確認の上、期限内に提出してください。
☐	定期預金残高証明書	預金証明書は、経費支弁者名義で発行された3ヶ月以内のものを提出してください。預金金額は申請者の在学期間中の費用を十分に負担できる額である必要があります。
☐	経費支弁者の在職と収入証明 (原本)	- 勤務先企業または政府機関が発行した、直近1年間の収入所得が記載された証明書。 - 勤務先名、住所、連絡先などを記載してください。
チェック	経費支弁者が日本在住の場合	詳しい内容
☐	経費支弁者と申請者の関係を証明する書類（住民票原本）	経費支弁者と申請者の関係を証明する書類として、世帯全員が記載された住民票を提出してください。住民票は原本（市役所等で発行されたもの）を使用してください。
☐	銀行預金残高証明書	預金証明書は、経費支弁者名義で発行された3ヶ月以内のものを提出してください。預金金額は申請者の在学期間中の費用を十分に負担できる額である必要があります。
☐	在職証明書	会社員の場合、企業または政府機関が発行した在職証明書の原本を提出してください。
☐	課税証明書 または非課税証明書	申請する年の1月1日時点の居住地所在の市（区）役所が発行した課税証明書（または非課税証明書）です。
☐	在留カードの両面写し	